

平成28年3月21日(月・祝)
PM1:00～
早稲田大学34号館4階453教室

平成28年度 第1回 関東学生卓球連盟 代議員会

議 題

- 1) 平成28年度 役員改選
- 2) 平成27年度 事業報告
- 3) 平成27年度 会計報告
- 4) 規約等改正について
- 5) 平成28年度 事業計画
- 6) 平成28年度 会計予算
- 7) 平成28年度 登録について
- 8) 平成28年度 前期大会等要項について
- 9) その他
 - ・プラスチックボールの件（従来通り。変更なしの再確認）
 - ・昨年9月1日からのユニフォームルール変更への対応の件（再確認）
 - ・各種オープン大会への出場について（再確認）
 - ・OB連盟加盟について
 - ・学連事務所移転1年経過の件（郵便物自動転送の終了）
 - ・学連への連絡の件（メール使用の推奨など）
 - ・エントリーシステムについての諸連絡
 - ・国際交流届の件
 - ・全日本選手権 予選会申請書の件
 - ・関東学連の会計処理の件

10) 以下、1・2部、及び3部以下別

1・2部校

- ・春リーグ、新人戦、関東高体連合同強化事業、等の連絡事項

3部以下

- ・春季リーグ戦・会場及び日程について

1) 平成28年度 役員改選

平成28年度 関東学生卓球連盟 役員			
会長	松崎 キミ代	専修大出身	
常任相談役	渋谷 五郎	明治大出身	
顧問	兒玉 圭司	明治大出身	
	森 武	早稲田大出身	
	等々力 肇	筑波大出身	
	波岡 實	専修大出身	
	伊澤 孝	早稲田大出身	
	甘竹 秀雄	専修大出身	
参与	原田 宜亮	立正大出身	
	山本 義徳	中央大出身	
	武山 嘉成	慶應義塾大出身	
	横須賀 成良	立正大出身	
副会長	齊藤 進	日本大出身	
	西村 卓二	東京富士大監督	
	細井 孝一	専修大出身	
	鈴木 一雄	中央大監督	
理事長	黒羽 隆二	國學院大出身	
副理事長	鄭 泰應	日本体育大監督	
	氏田 知孝	日本大監督	
	鈴木 達也	東海大出身	
理事 監督会推薦	大場 隆雄	中央大監督	
	櫻井 茂雄	早稲田大監督	
	宮本 勝典	法政大監督	
	阿部 勝幸	専修大監督	
	池田 由美子	大正大監督	
	鄭 泰應	日本体育大監督	
	古谷 修一	慶應義塾大監督	
	氏田 知孝	日本大監督	
	高山 幸信	明治大監督	
	長崎 隆志	駒澤大監督	
	永山 健一	早稲田大監督	
理事 OB連盟推薦	河原 智	早稲田大出身	
	太田 秀明	青山学院大出身	
	小野 博良	専修大出身	
	黒羽 隆二	國學院大出身	
	鈴木 達也	東海大出身	
	多賀 康之	立教大出身	
理事 会長推薦	本間 一廣	東京理科大出身	
	渡邊 勝美	東海大監督	
	佐藤 真二	明治大出身	
	恒川 明久	専修大出身	
	江尻 雄一	東洋大監督	
	長田 拓也	日本大出身	
	沼田 政之	埼玉工大総監督	
監査	小林 操	國學院大出身	
	君波 範明	日本大出身	

平成28年度 関東学生卓球連盟 幹事会			
理事	幹事長	黒田 竜路	國學院大
理事	副幹事長	黒澤 大樹	慶應義塾大
理事	会計	河村 泰地	明治大
理事	書記	島田 翔太	日本大
理事	幹事	勝山 翔太	専修大
理事	幹事	王 雅潔	早稲田大
理事	幹事	内田 雄太郎	早稲田大
理事	幹事	黒川 宗哲	駒澤大
理事	幹事	小見 真	日本体育大

平成28年度 関東学連 技術員			
男子	北原 大輝	専修大	4年
	町 飛鳥	明治大	4年
	高田 直騎	早稲田大	4年
	後藤 卓也	日本大	4年
	大坂 亮輔	中央大	4年
	斎藤 稜馬	筑波大	4年
	村井 桂	法政大	4年
	新山 勇氣	國學院大	4年
	水谷 綱紀	埼玉工業大	4年
	染谷 凌平	駒澤大	4年
	大西 直人	日本体育大	4年
	大野 哲郎	慶應義塾大	4年
	畑田 凌佑	大正大	4年
	吉田 拓寛	東京経済大	4年
女子	佐藤 風薫	早稲田大	4年
	後藤 奈津美	東京富士大	4年
	温 馨	日本体育大	4年
	佐藤 優衣	淑徳大	4年
	赤崎 瑞樹	専修大	4年
	永田 彩夏	中央大	4年
	荒木 悠里	大正大	4年
	荒川 静香	國學院大	4年
	宮内 玲菜	日本大	4年
	村山 礼美	東洋大	4年
	田崎 彩織	筑波大	4年
	廣瀬 円香	東京女子体育大	4年
	高橋 佑希	東京経済大	3年
	山口 愛	慶應義塾大	4年

2) 平成27年度 事業報告

平成27年度・関東学生卓球連盟・事業日程

関東	日本	事業名	期日	会場
	日	日学連・ユニバーシアード・国内選考会	2/ 3(火)～ 5(木)	味の素ナショナルトレーニングセンター
関		欧州遠征(サフィールオープン等)	2/17(火)～24(火) (試合・2/20(金)・21(土))	スウェーデン
関		東京都女子高体連PR会	2/22(日)AM11時～	武蔵野高校
関		送別会・兼・年間優秀選手表彰式	3/ 5(木)PM7時～	専修大学・神田校舎・1号館・15階ホール
関		第1回代議員会	3/29(日)PM1時～	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
関		関東学連・関東高体連合同強化事業	4/ 4(土)	味の素ナショナルトレーニングセンター
	日	日学連・高体連合同強化事業	4/10(金)～12(日)	味の素ナショナルトレーニングセンター
関		公認審判講習会	4/26(日)PM1時～	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
関		春季リーグ戦		
		幹事校講習会	4/26(日)AM11時～	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
		1部リーグ	5/13(水)～17(日)	所沢市民体育館
		2部リーグ	5/13(水)～15(金)	所沢市民体育館
		入替戦	5/30(土)	和光市総合体育館
関		関東新人戦	5/23(土)～24(日)	和光市総合体育館
関		インカレ・関東予選	5/31(日)	和光市総合体育館
関		関東学生選手権	6/26(金)～28(日)	所沢市民体育館
	日	第28回ユニバーシアード競技大会	7/ 3(金)～14(火) (卓球競技:7/6(月)～13(月))	韓国・光州
	日	第85回 全日本大学総合選手権・団体の部 (旧・全日本大学対抗)	7/16(木)～19(日)	愛媛県武道館
関		第2回代議員会	7/26(日)PM1時～	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
関		全日学・関東予選	8/ 4(火)～ 5(水)	所沢市民体育館
関		第9回 関東学生チームカップ		
		〃 ・Cブロック(5・6部) 〃 ・Bブロック(3・4部)	8/ 6(木) 8/ 6(木)～ 7(金)	所沢市民体育館 所沢市民体育館
	日	日学連・日韓交流	8/23(日)～27(木)	新潟・鳥屋野総合体育館
	日	第4回ドリームマッチ	8/29(土)～30(日)	名古屋市・天白スポーツセンター
関		秋季リーグ戦		
		幹事校講習会	8/30(日)PM1時～	岸記念体育会館・101号室
		1部リーグ	9/ 7(月)～ 9(水) 9/14(月)～15(火)	川崎市・とどろきアリーナ(9/7～9) 代々木第2体育館(9/14～15)
		2部リーグ	9/ 7(月)～ 9(水)	川崎市・とどろきアリーナ
		入替戦	10/10(土)	和光市総合体育館
関		第9回 関東学生チームカップ		
		〃 ・Aブロック(1・2部)	10/ 7(水)・ 8(木)	駒沢体育館
	日	第82回 全日本大学総合選手権・個人の部 (旧・全日本学生選手権)	10/22(木)～25(日)	関西学連・ハンナリーズアリーナ(=京都市体育館)
関		ベトナム遠征	11/ 2(月)～ 9(月)	ベトナム
関		第50回 会長杯		
		〃 ・Bブロック(3部以下) 〃 ・Aブロック(1・2部)	11/12(木)・13(金) 11/13(金)・14(土)	和光市総合体育館 和光市総合体育館
		第12回 全日本学生選抜選手権	11/28(土)～29(日)	東海学連・名古屋市昭和スポーツセンター

↑ ↑
「日」は、日学連関連事業
「関」は、関東学連関連事業

- 3) 平成27年度 会計報告 (別冊資料参照)
- 4) 規約等改正について (次ページ資料参照)
- 5) 平成28年度 事業計画 (別冊資料・前期大会等要項 P 2 参照)
- 6) 平成28年度 会計予算 (別冊資料参照)
- 7) 平成28年度 登録について (別冊資料参照)
- 8) 平成28年度 前期大会等要項について (別冊資料参照)

4) 規約等改正について

関東学連・平成28年度・第1回理事会(3/10(木))にて承認

● 技術員会の立ち会いについて

規約・第5章 機関

第19条 本連盟の機関は下記の通りである。

5. 技術員会

現行 ② 技術員会は幹事長以下、幹事及び技術員をもってこれを構成する。なお、技術部会の役員は技術員会に出席して意見を述べることができる。

↓

改正案 ② 技術員会は幹事長以下、幹事及び技術員をもってこれを構成する。なお、技術部会の役員は技術員会に出席して意見を述べることができる。
なお、原則として、審判長、及び事業部長が立ち会うものとする。

● 新人戦シード規定について

事業実施細則・第2条・関東学生卓球新人選手権大会・4・シード規定

現行シード規定

- (1) 前年度インターハイランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで
- (2) 前年度全日本選手権大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで
- (3) 前々年度全日本ジュニアランキング8位まで(シングルスのみ)
- (4) 前年度全日本選手権大会シングルスベスト32、ダブルスベスト16
- (5) 前年度インターハイ各地域大会ランキングシングルス8位まで、ダブルス4位まで
- (6) 前年度当該大会シングルスベスト8、ダブルスベスト4まで。

但し、シード会議に出席した構成員の3分の2以上の賛成をもってシード順位を入れ替えることができるものとする。
ダブルスにおいては、両者の内の一方が規定のランキングを保持していれば認められる。又、必要に応じてシングルのランキングも参考にする事が出来る。

↓

シード規定・改正案

- (1) 前年度インターハイランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで
- (2) 前年度全日本選手権大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで
- (3) 前々年度全日本ジュニアランキング8位まで(シングルスのみ)
- (4) ○ 前年度全日本選手権大会シングルスベスト32、ダブルスベスト16
○ 前年度高校各地域ブロック大会(関東大会、近畿大会、等)ランキングシングルス8位まで、ダブルス4位まで
○ 前年度当該大会シングルスベスト8、ダブルスベスト4まで。
○ 世界ランキング300位以内かつ上位から4名まで
(本大会シード会議の1週間前のランキング。シングルスのみ対象)
○ U18世界ランキング100位以内かつ上位から4名まで
(本大会シード会議の1週間前のランキング。シングルスのみ対象)

まず、(1)～(3)に関しては、優先順位としてシードを決定する。

(4)に関しては、シード会議に出席した技術員の過半数によって、シード順位を決定する。

ダブルスにおいては、両者の内の一方が規定のランキングを保持していれば認められる。又、必要に応じてシングルのランキングも参考にする事が出来る。

● 関東学生選手権シード規定について 事業実施細則・第3条・関東学生卓球選手権大会・4・シード規定

現行シード規定

- (1) 前年度当該大会ランキングシングルス16位まで、
ダブルス8位まで
- (2) 前年度全日本学生選抜選手権大会シングルス16位まで
- (3) 前年度全日本学生選手権大会ランキングシングルス16位まで、
ダブルス8位まで
- (4) 前年度全日本選手権大会シングルスベスト32まで、
ダブルスベスト16まで
- (5) 当該年度新人戦シングルスベスト8、ダブルスベスト4まで。
- (6) 前年度当該大会シングルスベスト32、ダブルスベスト16

但し、シード会議に出席した構成員の3分の2以上の賛成をもってシード順位を入れ替えることができるものとする。
しかし、その場合でも、前年度当該大会当該種目において保持しているランキンググループ(1位・2位・ベスト4・ベスト8・ベスト16)は確保されなければならない。
又、ダブルスにおいて、ペア変更によって両者の内の一方、又は両方が規定のランキングを保持している場合でも参考資料に留めるものとする。



シード規定・改正案

- (1) 前年度当該大会ランキングシングルス16位まで、
ダブルス8位まで
- (2) 前年度全日本選手権大会シングルスベスト16まで、
ダブルスベスト8まで
- (3) 前年度全日本学生選抜選手権大会シングルス16位まで
- (4) 前年度全日本学生選手権大会ランキングシングルス16位まで、
ダブルス8位まで
- (5) ○ 前年度全日本選手権大会シングルスベスト32まで、
ダブルスベスト16まで
 - 当該年度新人戦シングルスベスト8、ダブルスベスト4まで。
 - 前年度当該大会シングルスベスト32、ダブルスベスト16
 - 世界ランキング300位以内かつ上位から4名まで
(本大会シード会議の1週間前のランキング。シングルスのみ対象)
 - 前年度全日本学生選手権大会シングルスベスト32まで、
ダブルスベスト16まで
 - 前年度インターハイランキングシングルス8位まで

まず、(1)～(4)に関しては、優先順位としてシードを決定する。

(5)に関しては、シード会議に出席した技術員の過半数によって、シード順位を決定する。

又、ダブルスにおいて、ペアー変更によって両者の内の一方、又は両方が規定のランキングを保持している場合でも参考資料に留めるものとする。

規約類・条文改正関連

チームカップ・Bブロック→Aブロック勝ち上がり時の差額分参加料徴収
(平成27年度・関東学連・第5回理事会(12/7)にて決定済み)

事業実施細則

第9条 関東学生卓球チームカップ

4. ブロック分け

(前略)

下位ブロックで上位に進出したチームは、上位ブロックに参戦する権利を得る。その際、追加の参加料は必要としない。

(後略)

↓ (最後の一文を削除)

(前略)

下位ブロックで上位に進出したチームは、上位ブロックに参戦する権利を得る。

(後略)

<背景・理由>

従来、チームカップ・Bブロック参加料・4,000円

Aブロック参加料・6,000円

勝ち上がり参戦時に差額分徴収は従来はしていない。

勝ち上がり参戦は義務ではなく、権利であり、参戦しなければ別チームが繰り上がりで参戦できる。

勝ち上がり参戦時にメンバーを1名追加できるなど、参戦しやすいための配慮はしている。

しかし、H25・H27と、勝ち上がり参戦申し込み後の棄権が散見される。本当に急な出場不可の場合も考えられるが、安易に参戦の意思表示をして、安易に棄権している懸念もある。

安易な参戦意思表示の一因として、「タダだから」ということも考えられる。安易な参戦申し込みの予防の目的で、H28より、A・Bブロック参加料の差額分にあたる2,000円を勝ち上がり参戦申し込み時に徴収する。

男女合計で20チーム程度の勝ち上がりとなるので、4万円程度の増収となるが、主目的は収入増ではなく、「安易な棄権防止(他チームに回ったかも知れない試合機会を無意味に潰すことの予防)」。

全日学選抜も、参加料が無料であった第4回大会までは、外国人選手の安易な参加申込と安易な棄権が目立ったが、参加料を徴収するようになった第5回大会以降は棄権は減っている。

9) その他

●プラスチックボールの件（従来通り。変更なしの再確認）

関東学連では、昨年（平成27年度）より、全ての事業をプラスチックボール（日卓協公認球・スリースター・白球）を使用して行なっています。セルロイドボールは、去年から使用していません。

また、大会ごとにボールのメーカーを単一に指定することはありません。（メーカー混在で行ないます。これは従来通りです）。

3部以下のリーグ戦に関しては、

- ・タマス（＝バタフライ）、
- ・日本卓球（＝ニッタク）、
- ・ヤマト卓球（＝TSP）

の主要3社のボールを各1ダースずつ・計3ダース、幹事校に支給し、試合を行なってもらっています。（これも従来通りです）。

その他の大会においても、基本的には上記の主要3社のボールを使用球として準備しています。

（全国大会等においては、その他のメーカーの公認球も準備することがあります。）

以上が、去年から継続されている現状の基本方針です。

変更等がある場合は、関東学連のHPなどでご連絡いたします。

●昨年9月1日からのユニフォームルール変更への対応の件（再確認）

昨年9月1日より、ボールと同色系のユニフォームが不可となっており、関東学連は白ボールを採用するので、白系統のユニフォームは着用不可。ユニフォームの新規購入、オリジナルユニフォーム作成の際には「白ボールでの使用可」を表す「日卓協（JTТА）赤ワッペン」付きを強く推奨します。

平成26年6月24日

関東学連加盟校各位

平成26年度版・各種オープン大会への出場について

関東学生卓球連盟
会長 渋谷五郎
理事長 鈴木一雄
幹事長 長田拓也

拝 啓

時下、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、表題の各種オープン大会への出場の件につき、下記の通り、ご連絡いたします。

平成21年4月17日より、オープン大会における団体戦の混成チーム禁止などの規制が関東学連の独自規定として定められていました。

それから5年が経ち、この規定が実態に即していない弊害なども散見されるようになったことから、平成26年6月24日に行なわれました関東学連・第3回理事会において、この一部を改訂して、下記の通りとすることが決定いたしました。

- ・国体（及び、国体予選）に関しては、県名チームでの出場を認める。
- ・地域エリア（市区町村など）の肩書で出場する場合は、所属大学名の明記は必須とせず、出場を認める。
(例：「〇〇市チーム」としての出場を可能とする)
- ・その他の大会に関しては、チーム名、ゼッケン、プログラムなどのいずれかに大学名が明記されることを前提として出場を認める。
これにより、地域や高校のOBチームなどに関しても、「〇〇高校OB（×××大）」のように、併記する形でも、現所属の大学名を明記すれば出場可能となる。
- ・他所属チームの選手との混成チームで団体戦に出場する場合は、申請書の提出を要する。
- ・日本リーグのレンタル制に伴う所属名の表記は、日学連の規定に従う。
(平成26年度現在は禁止)
- ・その他、この原則での運用し、支障が発生するようであれば、今後、さらに検討する。

今後、加盟校の皆様におかれましては、上記原則をご理解いただき、周知・徹底をお願いいたします。また、運用上での詳細の連絡を、関東学連のHP（<http://kanto-sttf.jp/>）において行なう可能性がありますので、定期的に確認をお願いします。

以 上

加盟大学卓球部 OB・OG 会
会長・理事長・幹事長各位

関東学生 OB 卓球連盟
会 長 松崎キミ代
理事長 河原 智

関東学生 OB 卓球連盟加入のお願い

拝啓、貴卓球部におかれましては、益々ご発展のこととお喜び申し上げます。OB 連盟も加盟校の皆様のご理解ご協力により、今日まで多岐にわたり活動を続けてまいりました。本年度もさらに活動を活発化させ、関東学連の現役学生を側面から応援し、再び世界卓球の覇権を関東学連の学生が取り戻すため我々OB・OGが結束しなければなりません。つきましては、各OB会の皆様に趣旨をご理解いただき、新年度学連登録に合わせてOB連盟への加入をお願いする次第です。(年会費 10,000 円)

主な活動予定として①会長杯卓球大会の主催②OB 懇親会の開催③OB 卓球大会の開催。②、③については会費制とし、残額を現役学生の強化費として応援等、資金面においても支援する体制づくりを確立させたいと考えております。

懐かしい友人との楽しい再会を期待して、また関東学連のさらなる発展を応援するため、是非OB連盟へご加入いただきますようお願い申し上げます。敬具

平成28年度関東学生OB卓球連盟登録申込書

大学名	OB 会名		
会長又は 代表者名	自宅住所〒	TEL	
	メール (必須) :	FAX	
幹事長又は 理事長名	自宅住所〒	TEL	
	メール (必須) :	FAX	
① OB 卓球連盟 への代表者名	自宅住所〒	TEL	
	メール (必須) :	FAX	
② 代表者の代理 者名	自宅住所〒	TEL	
	メール (必須) :	FAX	

① OB 連盟への代表者は会長または幹事長と重複しても差し支えありません。

② 加入締め切り 4 月末。

送り先 メール japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp FAX 03-3496-9668

●学連事務所移転1年経過の件（郵便物自動転送の終了）

関東学連事務所が移転し、1年経過しました。

2/1で、郵便物の転送期限は終了していますのでご注意ください。

現住所 〒150-0041

東京都 渋谷区 神南 1-4-2 神南ハイム 402

●学連への連絡の件（メール使用の推奨など）

学連への問い合わせ等、ご連絡は、電話よりもメールの方をお勧めします。

電話の場合は、

- ・ 常時、役員がいるわけではないので連絡が取れないことがある
（特に大会期間中など）。
- ・ 記録が残らないので、誤解などからあとで「言った言わない」のトラブルになる危険性がある

といったデメリットがあります。

学連にメールする際は（他の時でも同じでしょうが）、出来るだけ件名（タイトル）をつけるようお願いします。

受信側のメールツールの設定にもよりますが、タイトルのないメールは自動的に迷惑メールに振り分けられる危険性もあります。

学連のように、メールアドレスを一般に公開しているところには、1日に何十通も迷惑メールが来ますから、そこに紛れると見落とす危険性が高くなります。また、タイトルのないメールが他校も含め、何通も来ると、学連側としては後から探す場合などに非常に無駄な手間がかかります。

メールを送る時は注意してください。

また、メールタイトルは、そのメールの内容を端的に示すものであると理想的です。

●エントリーシステムについての諸連絡

関東学連のHP (<http://kanto-sttf.jp/index.html>) が、トラブルにより接続しづらくなることがあります。

エントリーシステム (<http://www.kanto-sttf.com/login>) は、関東学連のHPとは別のサーバーで動いている別のシステムです。

大会の申込や選手の追加登録などは、<http://www.kanto-sttf.com/login> か

ら行なうことが出来ますので、覚えておいて下さい。

各種の登録作業を行なった際、「登録できました」といったメッセージが表示されずにID、パスワード入力待ちの初期画面に戻ることがあります。この場合は、タイムアウト（時間切れ）で、直前の入力内容は登録されていない可能性が高くなっています。

再度、ID、パスワードを入力し、ログインして、登録内容を確認してください。

「部員管理」→「部員登録一覧」→「編集」の出身校は、出来るだけ「〇〇高」に統一してください。

現在、「〇〇」や「〇〇高等学校」などバラバラの状態。

但し、秀光中等教育校など、「高」でない場合は、現状のままで良い。

登録されている情報が、そのままプログラムに掲載される内容に直結します。選手名の誤登録などが目立ちますので、注意してください。

例)「奈」と「菜」、「理」と「里」、「美」・「実」・「未」、など。

「大学管理」→「登録情報」の「代表者」「監督」「主務」「代議員」のメールアドレス記入欄が2つになっています。

学連からの通知は、添付ファイル付きや、HPへのリンクURL付きが多くなっています。

従来からの「メールアドレス」欄が、「数日に1回は必ずチェックする」、「添付ファイルやリンクURLを拒否しない」のであれば、それだけでも結構です。

新設の「メールアドレス2」は、「1がエラーの際のバックアップ」の位置付けです。

入力必須ではありませんが、出来れば登録してもらった方が連絡が付きやすくなります。

例)「1」は常時見るスマートフォンのメールアドレス

「2」は、数日に1回しか見ないが、添付ファイルなどの見やすいパソコンのメールアドレスなど、用途に応じて登録してください。

主務と代議員の「連絡先」(電話番号)と「メールアドレス」は、再度、確認してください。全角・半角、コンマ(,)と点(、)や、ハイフン(-)と長

音記号(一)などに注意してください。(メールアドレスは、コピーして自分宛に送るなど)。

ヤフーメールからの受信を拒否するなど、受信メールの制御を行なっている場合は、少なくとも、japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp からのメールのみは通すようにしてください。

また、添付ファイル付きメールやリンク付きメールを拒否する設定を行なっている場合も、可能であれば japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp からのこれらのメールは拒否しないように設定してください。

学連から送信したメールが大量にエラーになると、大変混乱します。

●国際交流届の件

昨年度より、日卓協の国際交流届が新しくなりました。

関東学連登録選手は、海外に渡航して国際交流を行なう際、渡航の1ヶ月前をメドに、この届を記入し

- ・「関東学連」(japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp)
- ・「自分の所属する各都道府県卓協(東京都卓球連盟、神奈川県卓球協会、など)」の2箇所メール添付で申請をするようにしてください。

●全日本選手権 予選会申請書の件

現在、所属している都道府県でなく、卒業高校の都道府県から全日本選手権の予選会に出場を申請する場合、5年前から別紙の申請書の提出が必要となった。

申請の流れ

本人→所属大学の登録地の加盟団体→本人→出場を希望する加盟団体
例) 明治大所属の青森山田高卒

本人 → 東京都卓球連盟 → 本人 → 青森県卓球連盟

※この書類の提出先は、学生卓球連盟ではなく、各県卓協であることに注意。

国際交流届

- ・ 下記空欄を出来る限りご記入後、所属している 47 都道府県加盟団体へ提出してください。
- ・ 提出はメール添付送付をお願いします。不明の場合は、日本卓球協会へ送付してください。
- ・ 海外へ渡航される前に外務省の海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>で安全情報を必ずご確認ください。
- ・ 外務省“たびレジ”“ORRnet” <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>の登録を強く推奨します。
- ・ 交流者が複数名になる場合は、名簿リストを別紙にて送付してください。

交流の目的				
交流内容	大会名	その他		
交流先協会名				
所属(クラブ名)	交流者氏名	性別・年齢	区分	その他
	(ふりがな)	男 女 歳	選手 役員 指導者	
交流の期日	年 月 日 ~ 年 月 日			
交流の場所 会場・クラブ名・住所				
主催者				
後援者				
国歌・国旗使用	有 (いつ・どこで・どのように)			無
交流費用負担者				
連絡先 (日本) 名前・住所 電話・メールアドレス				
連絡先 (渡航先) 名前・住所 電話・メールアドレス				
日本卓球協会への依頼事項				
外務省渡航登録	登録済 (たびレジ ・ ORRnet)	これから登録する https://www.ezairyu.mofa.go.jp/		

平成 年 月 日

天皇杯・皇后杯 平成 年度全日本卓球選手権大会
予選会申請書

都 道 卓球連盟
府 県 卓球協会 会長 殿

*卒業高校所在地加盟団体名を記入

下記種目において貴団体の予選会に出場を希望いたします。

ふりがな	*	男・女	年齢	
名前	*	*	*	歳
卒業高校名	*	所在地	*	都道府県
大学名	*	登録地	*	都道府県
連絡先	*			
* 出場を希望する種目(出場を希望する種目を○で囲む)				
シングルス		ダブルス		混合ダブルス

* 本人記入欄

(大学の登録地 加盟団体)

上記選手が登録していることを証明いたします。

平成 年 月 日

加盟団体名

会長

印

(卒業高校所在地 加盟団体)

上記選手が本団体の予選会に出場することを承認いたします。

平成 年 月 日

加盟団体名

会長

印

注)この申請書は、日本学生卓球連盟に登録している選手が、卒業高校所在地の加盟団体で
標記大会の予選会出場を希望する選手が使用する申請書です。

(申請の流れ)

本人 ⇒ 所属大学の登録地の加盟団体 ⇒ 本人 ⇒ 出場を希望する加盟団体

※予選会出場の承認した加盟団体は本用紙を所属大学の登録地加盟団体にFAXをすること。

※本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙を提出すること。

●関東学連の会計処理の件

- 基本的に、関東学連へのお金の支払い（登録料、大会参加料等）は、コンビニ払いの請求書によって行なってください。支払期限内に、確実に払うようにしてください。
- コンビニで支払い時に渡されるストアスタンプ付きの領収書が正規の領収書です。（現在、男女合計約150チーム中、約140チームはこれで問題なく処理が来ています）
- 領収書の再発行は出来ません。領収書を紛失することは、現金を紛失することと同じ意味を持ちます。自己責任で、しっかり管理するようにしてください。
- 止むを得ず、学連の連盟印入りの領収書が必要な場合は、コンビニ払いの領収書との交換になります。（領収書の二重発行を防止するため）。郵送や持参によって、コンビニ払いの領収書を提出するようにしてください。
- 例外的にコンビニ払い以外の方法で学連に支払いをする場合は、手渡しか、銀行振り込みとなります。
関東学連の銀行口座は
「三井住友銀行 渋谷支店 普通
店番号 654
口座番号 5127505 関東学生卓球連盟 会長 渋谷五郎
（→ 近日中に、栗本キミ代 に切り替える予定）」
です。
振込人は、「チームコード+大学略称+用途」としてしてください。
例)「198 ミホンダイ トウロクリョウ ハルリーグ」
（見本大学が、登録料と春リーグ関連の参加料などを振り込んだ場合）。
学連の連盟印入りの領収書が必要な場合は、振込票との交換となります。